

# 令和8年度 犬田布小学校グランドデザイン

## 学校教育目標

確かな学力を身に付け、心豊かで  
たくましい犬田布の子供を育てる

校訓  
広い心 豊かな考え たくましい体

キャッチフレーズ:『気付き・考え・行動し、』

- 鹿児島県教育行政基本目標  
「夢や希望を実現し未来を担う鹿児島のつづき」
- 大島教育事務所教育行政基本方針  
「奄美のよさを生かした活力ある教育の充実」
- 重点施策
  - ◇ 規範意識を養い、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
  - ◇ 確かな学力の定着と個性の伸長
  - ◇ 信頼される学校づくりの推進
  - ◇ 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進
  - ◇ 生涯学習社会へ向けた環境づくりとスポーツ、文化の振興

- 《伊仙町基本目標》  
「教育力のある環境づくり／豊かな心・確かな学力・たくましい体」
- 《伊仙町重点施策》
  - (ア) 郷土教育の充実
  - (イ) 特色ある教育活動の充実
  - (ロ) 道徳教育の充実
  - (ハ) 特別支援教育の充実
  - (ニ) 基礎学力の向上・家庭学習の質の向上・個に応じた指導の充実
  - (ホ) 教職員の指導力の充実
  - (ヘ) 幼小中間の交流と体験活動の充実
  - (ヘ) ICTの推進
  - (コ) 学校図書館機能の充実と児童生徒の幅広い知識の習得支援
  - (ク) 教師の日常業務の効率化
  - (ケ) 給食無償化への取組

- 《児童の実態》
- 明るく素直であり、体を動かすことが好き。
  - 最後まで粘り強くやり遂げる力が弱い。
  - 自ら考え取り組む自主性に乏しい。
  - 自分の考えを上手に表現できない。
  - 支援を要する児童が増加傾向にある。
  - 挨拶や返事に対して個人差が大きい。

- 《保護者・地域の願い》
- 確かな学力の定着
  - 体力・気力の伸長
  - 心豊かな子ども
  - 郷土を愛し、郷土を誇れる子供

めざす学校像 【学び愛のある学校】	めざす子供像 【広い心・豊かな考え・たくましい体】	めざす教師像 【学び続ける教師】	めざす家庭像 【帰りたい家庭】
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子供にとって「楽しく通いたい学校」</li> <li>◇ 保護者にとって「安心して任せられる学校」</li> <li>◇ 地域にとって「誇りと信頼のもてる学校」</li> <li>◇ 教職員にとって「やりがいをもって働ける学校」</li> <li>◇ 「安心安全な学校」安全管理体制が構築され居場所のある学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 広い心「礼儀正しく思いやりのある子供」</li> <li>◇ 礼儀・礼節 あいさつ 言葉遣い 思いやり</li> <li>◇ 豊かな考え「よく考え、進んで学習する子供」</li> <li>◇ 確かな学力 探求心 表現力 コミュニケーション能力</li> <li>◇ たくましい体「たくましく粘り強い子供」</li> <li>◇ 体力・気力 健康・安全 耐性 目標 気 勤労</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 分かる・楽しい授業づくりのために不断の努力をする教師</li> <li>◇ 子供を理解し、一人一人の可能性を引き出す教師</li> <li>◇ 学校経営に参画し、全教職員の協力・協働を追求する教師</li> <li>◇ 社会の動向をつかみ、保護者・地域の願いがわかる教師</li> <li>◇ 学校・家庭・地域の連携と協働を大切にする教師</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 明るくあいさつを交わす家庭</li> <li>◇ 会話のはずむ家庭</li> <li>◇ 善し悪しを教える家庭</li> <li>◇ 保護者も成長する家庭</li> </ul>

### 特別支援教育の視点

### 人権同和教育の視点

### 郷土徳之島で生まれ育った事への自信と誇りを持つことのできる

★ 重点 取組 事項	一事徹底	一校一改善	一校一運動
	<p>『進んであいさつ、元気な返事』</p> <p>《生活3か条》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 人を傷つけない思いやりのある心と言葉遣い</li> <li>② 整理整頓</li> </ol> <p>※ あるべきものが、あるべきところへ</p> <p>※ 自他の物を大切にする</p> <p>※ こみを出さない、ちらかさない</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>③ 時間を守る(時計を見て、5分前行動)</li> </ol>	<p>『主体的 対話的で 深い学び』</p> <p>【大島モデル「授業充実の3ポイント」】</p> <p>ポイント1【目標の明確化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゴール(身に付ける力)が明確な授業《開始10分以内の導入》</li> </ul> <p>ポイント2【山場の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思考を深めるための様々な学習活動や指導の工夫がある授業</li> </ul> <p>ポイント3【確かめ・見届け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分かるようになった・できるようになった実感のある授業《ラスト10分間の充実》</li> </ul>	<p>『持久力を高める運動』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 体力テスト分析を基にした個別最適な運動</li> <li>○ チャレンジランニング(めざせ徳之島一周)</li> <li>○ チャレンジなわとび</li> <li>○ チャレンジー輪車・鉄馬</li> <li>○ チャレンジサーキットコース(遊具活用)</li> </ul>

## 自ら気付き 考え 行動できる 犬田布っ子

教育課題	広い心「礼儀正しく思いやりのある子供」	豊かな考え「よく考え、進んで学習する子供」	たくましい体「たくましく粘り強い子供」	特色ある学校づくりの推進	カリキュラム・マネジメントの充実	
長期目標	○ 生命や人間尊重の精神をもち、礼儀正しく思いやりのある心豊かな子供を育てる。	○ 目標をもって主体的に学び、最後までねばり強くやりとげようとする子供を育てる。	○ 目標をもって健康、体力・気力づくりに励み、ねばり強くがんばりぬく子供を育てる。	○ 郷土と連携した教育活動を推進し、郷土愛に満ちた子供を育てる。		○ 教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図っていく。
本年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 人権尊重及び特別支援教育を軸にした教育活動の推進</li> <li>1 奉仕の心の育成</li> <li>2 栽培活動の充実と継続的観察の推進</li> <li>3 豊かな心の醸成</li> <li>4 全職員で児童理解、共通実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 「主体的 対話的 深い学び」「個別最適な学びと協働的な学び」の一体化を図れる教育実践の研究推進</li> <li>1 考えを深める場での伝える・説明する力の育成</li> <li>2 基礎基本の定着と自己肯定感を高める個に応じた指導の徹底</li> <li>3 個に応じた課題解決方法を身につけさせる指導法の改善</li> <li>4 家庭学習、自主学習の習慣化</li> <li>5 教科の本質を捉えた指導方法改善による、関心・意欲の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 一校一運動を核とした、体力づくりの推進</li> <li>1 進んで体力、気力づくりに取り組む児童の育成</li> <li>2 むし歯治療受診率100%</li> <li>3 安全点検の確実な実施で事故防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 世界自然遺産登録に基づく学習活動の推進に努める。</li> <li>2 地域素材(人・自然・文化・歴史・産業等)の教材化、教育課程への位置付け並びにそれらを生かした体験活動の推進に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 各教科の内容を横断的に捉え目標の達成に必要な内容を配列する。</li> <li>2 目的・目標に準じた調査、計画、実践、評価、改善のPDCAサイクルを確立する。</li> </ul>	
(具体的推進目標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 礼儀正しくはじめがあり、思いやりの心をもった児童の育成に努める。</li> <li>(2) 感謝の心と奉仕・福祉の精神をもった児童の育成に努める。</li> <li>(3) 人権同和教育・特別支援教育の充実(いじめ未然防止策並びに全ての教科・領域における人権同和教育・特別支援教育の視点に立った自己肯定感を高める個別指導・支援の充実)に努める。</li> <li>(4) 指導内容の重点化、豊かな体験の充実、家庭や地域社会との相互連携等に配慮した道徳教育を進める。</li> <li>(5) 花いっぱい運動、歌声(鳥鳴を含む)の響く学校づくりによる情操教育の推進</li> <li>(6) 本好きな子(読書目標設定及び家庭との連携による)の育成に努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 特別支援教育の視点に立った自己肯定感を高める個別指導・支援の充実</li> <li>(2) 主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い確かな学力の育成に努める。</li> <li>(3) 「知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう姿勢」育成を目指す資質能力の三つの柱の視点で各教科の「見方・考え方」を軸にした教育課程の見直しを進める。</li> <li>(4) あめに対して「分かった」「できた」が実感できる振り返り(自己評価)の時間の確立に努める。</li> <li>(5) GiGAスクール構想に基づく実践交流(タレント活用)研修の推進に努める。</li> <li>(6) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還を図った指導方法改善研究の深化</li> <li>(6) 家庭学習の習慣化(家庭学習ガイドの周知・活用の徹底)に努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本的な生活習慣を確立し、意欲的に体力づくりに取り組み、心も体も健康で、覇気に満ちた教科体育の充実と一校一運動の推進に努める。</li> <li>(2) 心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解し、健康で安全な生活を育む児童の育成、特にインフルエンザ等の感染防止に努める。</li> <li>(3) 自ら判断し、行動できる子どもを育てる防災・安全教育の取組を推進する。</li> <li>(4) 歯予防指導の徹底並びにむし歯治療受診率100%の達成に努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 犬田布の自然・風土を生かした特色ある教育課程の編成を推進する。 食農・食育活動等の体験活動の充実</li> <li>(2) 犬田布の歴史(犬田布騒動)・文化・人材に学ぶ教育活動を推進する。 鳥鳴・鳥の継承(外部人材の活用、なかよし音楽、学習発表会の内容工夫)、手踊り等の継承。 ※ 奄美日本復帰の歴史・泉法朗等の足跡をたどる。</li> <li>(3) 学校行事の適正化を図る。(一行事一改善、時数の適正化、ねらい検討)</li> <li>(4) 幼児教育、中学校教育との円滑な接続を図る。 ※ 学力の課題 生徒指導上の課題 接続に関する課題等合同研修会</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) チーム学校の確立と校務分掌の機能化 ※ 教育内容や時間の適切な配分、必要人的・物的体制の確立、実施状況に基づく改善 ア 確実な授業実施時数の把握(全学年) イ 学校運営協議会との連携による改善 ウ 郷土教育、キャリア教育、自然体験活動等の充実</li> </ol>	